

様式第4号（第5関係）

活動結果報告書

平成29年1月18日

越前市議会

議長 城戸茂夫 殿

議員氏名 小形 善信



下記のとおり報告します。

日 程 28年8月22日(月曜日)～8月23日(火曜日)

活動先 東京都参議院会館会議室及び県選出国會議員の各部屋

活動目的 国の政策研究と要望活動

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙を用いる。)

報告書は別添資料の通り

Horizontal dashed lines for additional text.

「国の政策研修と要望報告」 28年8月22～23日

小形善信

越前市では「半世紀に一度と言われているまちづくり」に取り組んでおり、庁舎の建設や武生中央公園の再整備、体育館を始めとするスポーツ施設の再整備、今後予定されている北陸新幹線（仮称）南越駅の周辺整備と新たな清掃センターの建設など、大型プロジェクトによる多額の財政負担が現実視されています、それらを考えると今後は本当に厳しい財政状況にあります、その対応策として、国や県の有利な助成制度を引き出すことも必要と思います

内閣府では28年8月に閣議決定された「未来への投資を実現する経済対策」を定めました。

中でも、地方創生加速化交付金については、自治体が進めている総合戦略に基づく自主的・主体的な地域拠点づくりなどの事業について、施設整備等の取り組みを進めるとのことであった。

中心市街地の活性化については、全国の事例を経済産業省の方々よりお伺いいたしましたが、現実的に活性化計画の目標を達成されている自治体が少ないことと「まちづくりに取り組むリーダー」が行政ではなく市民自らが思いを込められていくことが盛り上がりを見せる、それを行政がサポートする体制が成功を成しているとのことであった。

国土交通省では、公共施設の耐震化への支援体制があるとのことでありましたが、耐震化という考え方の中で「切り口」を考えれば多様な戦略が練られるとの考えを伺いました。

また、各地方自治体ではその取り組みや切り口を探すために、各省庁へ専門の職員を派遣し情報の先取りに専心しているとの話でありました、越前市でも県や国とのパイプを創造しなければならないと痛切に感じた所です。

翌日には、市長部局から預かった「重要要望」を県選出国会議員のすべての方々を訪問し、説明と共に特に要請活動を行いました。

会派未来の議員と県議による、国の政策研修 会

平成28年8月22日・23日
参議院会館・会議室

8月22日 午後

I 内閣府

補正予算28兆円1,000億円の経済対策の趣旨と概要。越前市の取り組みへの指導

II 経済産業省

中心市街地活性化計画の全国の成功事例における、成功と失敗の事例検証

III 国土交通省

国の重要文化財に指定された紙漉き道具の収蔵庫整備に対する、国の支援のありかた

○参加者 (県議)関、(市議)福田、中西、小形、佐々木 以上5名



I 内閣府

補正予算28兆円1,000億円の経済対策の趣旨と概要。越前市の取り組みへの指導

☆説明者 横山&萩原
政策統括官付・政策企画専門職

- ・H28地方創生加速化交付金の概要と全国の自治体の取り組み状況の説明。
- ・これまでの創生交付金の全国的な取り組み状況と今後の留意事項の指導

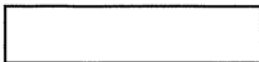


II 経済産業省

中心市街地活性化計画の全国の成功事例における、成功と失敗の事例検証

☆説明者 関:経済産業省・中心市街地活性化室室長補佐

- ・国内における中心市街地の取り組み状況、成功事例と失敗事例をもとにした検証について、詳しく説明を受けた。
- 特に、成功事例には、しっかりとした取り組みがあり、人材がいる事を改めて認識した。
- また、越前市の取り組みについても、忌憚なく、非常に具体的な指導も受けた。



国土交通省

公共施設の耐震化への支援体制

☆説明者 山口:国土交通省 市街地住宅整備室 企画専門官

・地方公共団体が行う、建築物の耐震化改修事業に関する支援制度の概要を説明。

例えば、紙の文化博物館の耐震改修については、拡充も含め、国の支援を受けれる可能性があることの説明がある。

23日 午前

県選出国會議員への市の重要要望事項の協力要請活動

24日の午前中は、県選出国會議員の議員会館の部屋を訪れ、市が提案している『重要要望事項』について、議員又は政策秘書に書類を手渡し、特に力を入れている点を説明し、協力を要請した。

☆要請先

参議院 山崎議員、 滝波議員、山谷議員

衆議院 稲田議員、高木議員、山本議員、助田議員 以上7名

会派未来の議員と県議による、国の政策研修会

平成28年8月22日・
参議院会館・会議室

I 内閣府

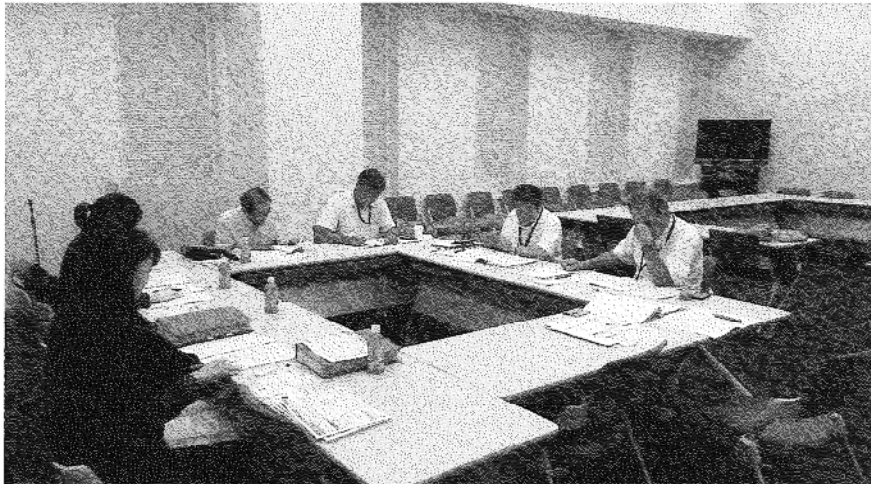
補正予算28兆円1,000億円の経済対策の趣旨と概要。越前市の取り組みへの指導

II 経済産業省

中心市街地活性化計画の全国の成功事例における、成功と失敗の事例検証

III 国土交通省

国の重要文化財に指定された紙漉き道具の収蔵庫整備に対する、国の支援のありかた



I 内閣府

補正予算28兆円1,000億円の経済対策の趣旨と概要。越前市の取り組みへの指導



II 経済産業省

中心市街地活性化計画の全国の成功事例における、成功と失敗の事例検証

3-1
3-2
3-3

様式第4号 (第5関係)

活動結果報告書

平成 28 年 5 月 26 日

越前市議会

議長 城戸茂夫 殿

議員氏名 小形 善信



下記のとおり報告します。

日 程 28 年 5 月 25 日 (曜日) ~ 月 日 (曜日)

活動先 市内各所
活動目的 議会報告と会派活動の為の会報発行

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙を用いる。)

印刷業者 (有)清水印刷

支払金額 740721-

配布先 新聞折込を通じて市内各所

配布部数 25200部

『新庁舎に期待する！』

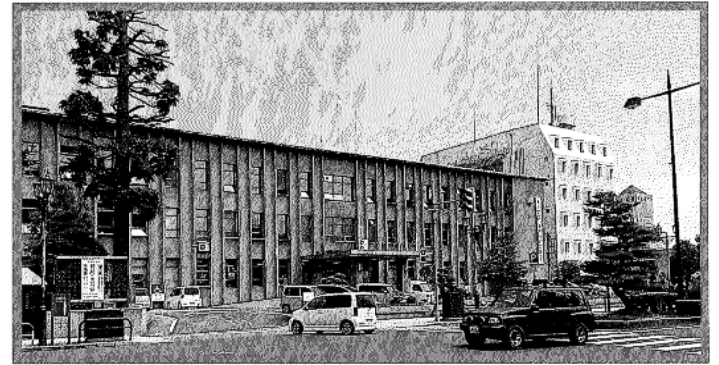
皆さんは、現在地に新しく建設される新庁舎の建物に
どんなことを望んでいますか？

○まちなかの活性化につながる新庁舎。

○シンボルになるような新庁舎。

高いビル、低層の建物、鉄筋、木造などなど、

皆さんは、どう考えられますか？



今年初め、公用車駐車場として現在建設中の第3庁舎跡地の発掘現場で、紫式部が住んでいた平安時代の国府に関すると思われる建築物の大きな柱跡や、戦国～江戸時代の前田利家や本多富正に関係すると思われる遺物や文化遺跡が出てきました。

これらの国府や府中城跡地は、まさに！「古代からのメッセージ」として私たちは考えます。

新庁舎は、これらの歴史をしっかりと活かし『さすがに国府に相応しい！』と、歴史と伝統にマッチした「越前市らしい建物」を目指したいものです。

と き

5月30日(月) 午後7時30分～9時

ところ

武生商工会議所 3階 会議室

内容

〈第一部〉ミニ講演・真柄甚松氏(郷土史家・市史編さん委員)

〈第二部〉皆さんとの意見交換会

私たちの新庁舎建築に対する提案

今回の発掘結果を受け、本来ならば、公用車の駐車場建設を見直し、建設場所の再検討に入るべきである。

しかし、すでに、工事発注済みであり、新庁舎建設に向けた基本設計に取り組んでいる現状を踏まえ、これまでの発掘結果を古代からのメッセージとして受け止め、今後の新庁舎建設について、次の点を提案する。

- ①発掘された『のずら積み』の石垣を復活し、それにふさわしい修景を造成すること。
- ②国府の歴史に相応しく、府中城風で、木造をふんだんに使った低層の建物とすること。
- ③身の丈に合ったコンパクトな建物にすること。
- ④役所機能について、アルプラザ4階やセンチュリープラザ2階のフロアーを積極的に利活用すること。
- ⑤新しくなる本庁舎への来場増加を踏まえ、駐車場を計画である120台(現在の台数)から増やすこと。
- ⑥市民利用機能フロアーや設備の運営については、市民団体との連携を積極的に図ること。

『会派:未来』議員の「3月議会を終えて！」

福田 往世



越前市は、将来の地域づくりを位置づける重大な時期を迎えております。

新庁舎、今立総合支所、体育館建設、中央公園再整備、中心市街地活性化、新幹線南越駅周辺整備など、大型プロジェクトに取り組んでおります。

多額の投資によるまちづくりの未来は、果たして、栄えある越前市となるか？市民の皆さんと、しっかり考えていきたいと思っております。

片粕正二郎



北陸新幹線・新庁舎建設対策特別委員会 委員長報告(抜粋)

新庁舎建設について、委員から、3月末から開催の基本設計・市民ワークショップについて、大人と中高生のグループに分けた質問に対して、福祉や防災など各分野の方、庁舎利用の団体、将来に向け、中高生も参加のワークショップを行うとの市の答弁。

今立総合支所改築・市商工会位置づけについての質問に対し、商工会でも議論され、規模、予算等市とお互いに合理性を持った一番よい方法を協議し基本計画に反映したいとの市の答弁。

伊藤 康司



現在、市では、体育館建設、中央公園再整備、新庁舎建設と大規模なプロジェクトが進められています。

特に、現在基本設計が進められている新庁舎については、熊本地震の報道を見ていると、木造住宅が倒壊し、通学路をふさぎ、子供たちが迂回して通学する現状でした。

木造住宅が密集している現在地での建設が、本当に市の防災に対する危機本部となる本庁舎として良いものか？災害時の市民対応を思うとき、今一度再考することが必要でないのかと考えます。

中西 眞三



越前市のまちづくりや人づくりで、今後の目指す視点を考えると、疑問の多い議会でした。議員生活18年の中で、大きな危機意識を持ちました。

市政運営の最大目的は、『市民の最大幸福』です。それは、安心・安全、快適な暮らしの実現であると考えています。

そのため、市民から選ばれた市長が市政を運営し、議会がしっかりチェックする。

しかし、その機能が十分果たされないまま、提出議案が可決されていく今議会の現実を見て、大きな懸念を抱きました。

西野与五郎



医療費の増大による国民健康保険特別会計の繰り出し金が増え、市の一般会計の歳出増の要因となっています。今後も高齢化や医療の高度化により、医療費の増大が続くことから、市民総参加による健康づくりや介護予防の取り組みが求められます。

毎年、約4千人のランナーがエントリーする菊花マラソンが、今年35回大会を記念し、新(村国山)コースを設けて開催されます。このコースは、市民のシンボルである村国山を走るもの。安全対策には十分な配慮を要望しました。

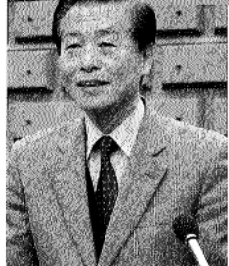
小形 善信



総務委員会に審議委託された案件のうち、旧第3庁舎跡地の公用車駐車場建設において、平安時代から戦国時代、江戸時代に由来される遺跡発掘の件について、市は、前議会にて承認済みと、事業着手優先の判断を主張しました。

総務委員長として、審議が必要と判断し、現場にて文化財調査員説明の所管事務調査会を開催して、全議員で現状を共有したいと思いましたが、過半の参加になり残念です。今後は、教育委員会の将来に向けた遺跡活用の判断を期待します。

佐々木哲夫



3月議会は、当初予算として、大型建設事業の関連予算、国保や介護など市民福祉関係の費用も含め、最大予算が可決されました。学校の耐震化工事が終わり、今後は、市民利用による公民館などの公共施設の雨漏りや老朽化対策を含めた耐震化工事が待ったなしです。

1年延期で4月から約10%値上げの国保会計は、昨年度、補正に加え、年度末には専決による追加支出もなされました。今後の運営は厳しく、しっかりとした対応が迫られます。

私たちは、ビックプロジェクトが続く今、このまちの未来について考えたいと思っております。

あとがき

3月議会で議論となった公用車駐車場建設に引き続き、計画の中の新庁舎建設については、昨年、基本構想・基本計画が策定され、現在、基本設計が進められています。

まちなかの活性化やシンボルとなる新庁舎には、越前市の歴史と文化をしっかりと踏まえ、市民に愛される建物を望みたいものです。

私たち、会派『未来』は、現在、本市にとって大切な課題である『新庁舎』について、市民と語る会を開催するなど、市民の皆さんの声を市政にしっかり反映していきたいと考えています。

ご支援ご協力を、心からお願いいたします。

3-4
3-5
3-6


様式第4号 (第5関係)

活動結果報告書

28年11月27日

越前市議会

議長 城戸茂夫 殿

議員氏名 小杉善信 

下記のとおり報告します。

日 程 28年11月27日(日曜日)～ 月 日(曜日)

活動先 会報を市内に新聞折り込み

活動目的 会派未来の会報を印刷・配布

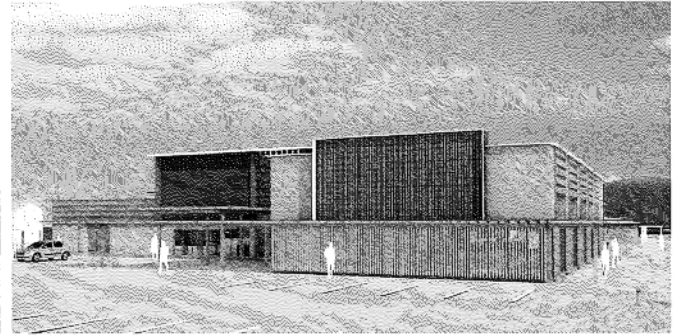
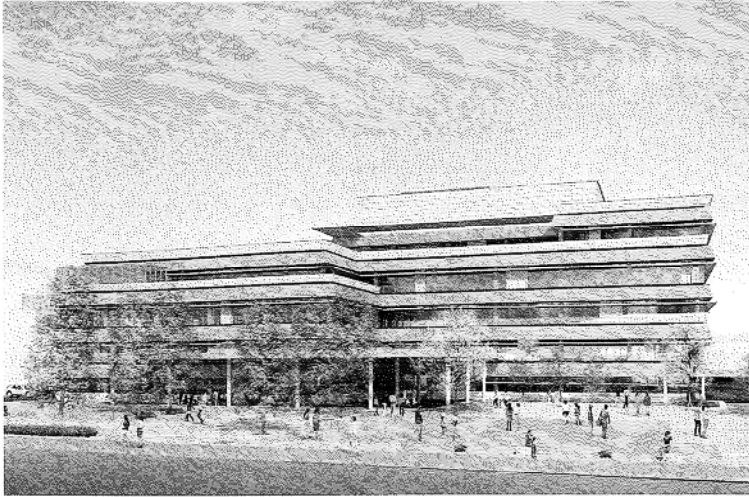
研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙を用いる。)

会派・未来の広報を印刷し、市内に新聞折り込み。
A4判×6頁 三折コート紙 90k 25,000枚
印刷代
@ 518,400円 / 5 = 103,680円 / 人
新聞折り込み代
@ 216,864円 / 5 = 43,300円 / 人

未来 REPORT

市議会報告 vol.4

【発行】
越前市議会
会派「未来」
小形善信
福田往世
伊藤康司
中西眞三
佐々木哲夫



これからの市のあり方～都市計画のゆくえ

まず、武生のまちなか活性化が一番！

先般、越前市中心市街地活性化基本計画が策定されました。

武生のまちなかに人が住むため、出店をはじめ様々な誘導支援策を図り、にぎわいを取り戻す計画です。

この計画を国に提出し、これから支援を要望するものです。主な内容は、

- ① 新庁舎の建設
- ② 北府駅周辺のまちづくり
- ③ 中央公園など市民が賑わう場づくり
- ④ 工芸の里構想推進事業
- ⑤ まちづくり会社の活躍
- ⑥ 庁舎前の4車線道路を2車線にし、庁舎前の広場と一体となる賑わいゾーン作り

滋賀県長浜市の黒壁など、全国各地において、まちがにぎわいを取り戻した事例を見ると、そこには、必ず、まちなかの人々の熱い願いがあり、情熱と行動で率先して取りまとめるリーダーの存在があります。

武生のまちなかでは、ワークショップに参加した市民の声も参考にしながら、市が中心となって中心市街地活性化計画が作成されています。この取り組みで、まちなかは、期待通り賑わいを取り戻すことができるのでしょうか。

まもなく始まる各種パブコメ！まちなかを含め、越前市全体のまちづくりに市民の意見が反映される！

現在、越前市都市計画マスタープランと立地適正化計画づくりが進められています。関係団体や有識者で構成される『策定委員会』は、これまで5回開催されました。

都市計画マスタープラン策定委員会で、委員長から指摘され、修正が図られた。

11月7日の第4回委員会において、委員長より、計画案の中で、今立の記述や位置づけがないことを指摘されました。市は、再検討の結果、修正を図ることになり、予定の都市計画審議会は延期。翌週16日に第5回委員会を開催。東部(今立)地域のまちづくりに関する記述が加筆修正されました。策定委員会を傍聴し、この間の市の考えの紆余曲折について、市民の皆さんに理解して頂けるのか？大きな不安を感じました。

今回の計画では、武生のまちなかを活性化するために、用途地域の中に、都市機能誘導区域と居住誘導区域を設定しています。特に都市機能誘導区域には、様々な施策を投入し、都市機能を集約する狙いがあります。

ネットワーク型コンパクトシティと謳っているものの、武生のまちなかは、都市機能誘導区域であり、**中心拠点**と位置づけ、賑わいを図ります。また、総合支所を建設する複合施設周辺は、東部地域のまちづくりを進める意味で、**地域拠点**としました。

しかし、それ以外の地域の位置づけが、今の計画では、明確に示されていないと感じます。

越前市のまちづくりは、自治振興会が活躍する小学校区を土台として築いてきました。武生のまちなかや総合支所周辺のみでなく、今後の新幹線駅周辺地域、商工会議所はじめショッピングセンターや住宅地が張り付く国高地区や吉野地区など、市街化が進む地域をはじめ、各小学校区のまちづくりなど、市全域のまちの位置づけを明示することにより、周辺地域住民の理解につながるのではないのでしょうか。

平成28年11月現在

まちなかのにぎわいを取り戻せるか！

越前市の顔として、JR武生駅前の現庁舎を約70億円(平成28年10月現在・今後大幅な増額が見込まれている)の事業費で、本庁舎建設事業が推進されています。平成32年(2020年)3月迄を工事期間と定め、現在、市民ホール、生涯学習センター、東公民館の解体撤去工事が施工されています。併せて、第3期越前市中心市街地活性化基本計画を策定しました。計画期間は、平成28年12月から平成34年(2022年)3月迄の5年4ヶ月の計画となっています。

主要事業は

1. H32 完成目標の新庁舎建設事業
2. H30 完成目標の武生中央公園再整備事業
3. H32 完成目標の北府駅鉄道ミュージアム整備事業
4. H31 完成目標の工芸の里構想(クラフトツーリズム事業他)

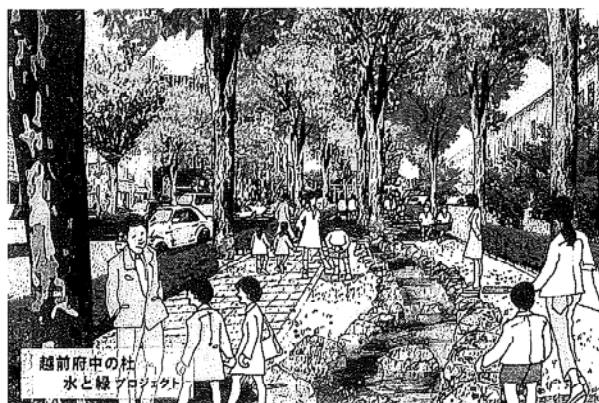
推進事業・5商店街活性化プランに基づく一連の事業

としました。そして、現市役所前の道路について、現行の4車線の中央分離帯を撤去し(県の同意を得る)、2車線として、幅広な歩道を整備する方向性を新庁舎建設と重ねて示しました。多くの市民より、越前市(旧武生市)は、約400年前の「越前府中」時代に築かれた、「中心街道の町用水と松並木」の一部復活を求める声が発せられています。この声に、市は、庁舎前の道路には多くの地下埋設管(下水管、ガス管、上下水道管、排水路、NTT管等)があるので、「町用水の復活」は施工出来ないとして、幅広の歩道を整備したいと公表しています。

しかし、現状の地下埋設管を調査すると、多くの空間がある事が分かってきました。更に、埋設されている老朽管の更新と移管を計画的に施工すればローコストに町用水の整備も出来る事も分かって来ていますが、残念ながら市は幅広の歩道を整備すると言いつつ、続けています。駅前の「町用水と松並木」の復活が、越前市の歴史と文化の「在るべきまちづくりの姿」への一歩につながることを、市は考えていないようです。

中心市街地基本計画の主要事業は、目先の箱物事業が中心で、中心市街地で生活している市民目線の導入は希薄となっています。市民からのパブリックコメントに多くの声が集められたにも関わらず、事業化はほとんどされていないようです。

中心市街地には数多くの寺社仏閣(寺や神社の地域存在密度は全国トップクラスの密度で存在しています)がありますが、計画の中では生かされていません。更に、越前市(旧武生市)の特色や特長である「1300年の歴史に裏打ちされた越前国府と越前府中」の歴史的史実を全く生かしていません。先人達の脈々と築いて継承してきた遺産(レガシー)が反映されていない計画と言えます。



都市計画マスタープラン改定 及び立地適正計画策定	「持続可能」 越前市人口 83,075人
計画日程がタイトな 市民ホール解体と遺跡発掘 越前市役所本庁舎	市民ホール 基
東部の地域拠点? 今立総合支所	実施設計
特急とまるか? JR在来線 不便は確実	
丹南の玄関口 期待に応えられる南越駅となるか? 北陸新幹線駅と周辺整備	(機構)測量 (越前市)測量
市民の願い、急がれる雨漏り対策 各地区公民館 (屋上防水工事等)	王子保・北新 現在工事 公共施設
冬季も含め、市民の憩いの場となりえるか? 越前市中央公園 (新体育館・庭球場等改修含む)	工事中 市民 体育館完
期待と不安 新ごみ処理施設整備事業 (南越前町上野地係に新設)	整備計画 用 入札

の半世紀に一度のまちづくり主要整備事業タイムスケジュール

「半世紀に一度のまちづくり…市民の為の様々な事業…しっかり注視しましょう！」



予想

(平成28年11月22日現在)

平成35年度 予想されている事業費他

中心市街地は果たして
活性化するのでしょうか？

平成37年推定 78,400人

本体工事費 70億円
東側道路等工事除く
(推定最終試算 100億円以上)

本体工事費 11億円以上
周辺整備工事で増加見込

第3セクター出資比率未定
特急しらすぎ・サンダーパードは
存続できるのでしょうか

越前市の負担未定
インターチェンジからの
取付道路他課題は多い

耐震等工事金額は総額100億以上推定

新体育館建設事業費 31億円
中央公園(市民の広場他)16億円
その他周辺整備事業費未定

総事業費235億円の内
越前市負担分 約200億円

2023年

会派「未来」、国の政策を学ぶ

— 地元選出国會議員に支援要請 —

8月23日 於：参議院会館・会議室ほか



1. 内閣府

補正予算28兆円1,000億円の経済対策の趣旨と概要
越前市の取り組みへの指導

☆説明者 横山氏、萩原氏(政策統括官付・政策企画専門職)

- H28地方創生加速化交付金の概要と全国の自治体の取り組み状況の説明。
これまでの創生交付金の全国的な取り組み状況と今後の留意事項の指導。

2. 経済産業省

中心市街地活性化計画の全国の成功事例における、成功と失敗の事例検証

☆説明者 関氏(経済産業省・中心市街地活性化室室長補佐)

- 国内における中心市街地の取り組み状況、成功事例と失敗事例をもとにした
検証について詳しく説明を受けました。特に、成功事例には、しっかりとした
取り組みがあり、人材がいる事を改めて認識。また、越前市の取り組みについ
て、非常に具体的な指導も受けました。

3. 国土交通省

国の重要文化財に指定された紙漉き道具の収蔵庫整備に関する、国支援のありかた

☆説明者 山口氏(国土交通省 市街地住宅整備室 企画専門官)

- 地方公共団体が行う、建築物の耐震化改修事業に関する支援制度の概要説明。
例えば、紙の文化博物館の耐震改修については、拡充も含め、国の支援対象と
なる可能性があるとの説明がありました。

裏面のアンケートにご協力ください。

今後の議会活動に活かすため、皆さんの忌憚のないご意見をお願いします！

ミッションに沿って切り取ってお出し下さい。

郵便はがき

9158790



料金受取人払郵便

武生局承認

2841

差出有効期限
平成29年2月
18日まで

《切手不要》

会派「未来」 会長

小形善信宛

越前市塚町三十一



福田 往世

丹南は一つ

丹南地域は、県内の中央に位置し、人口約20万人を有する地域です。古来、男大迹(おおとの)皇子や継体大王にまつわる文化、越前国府に関する文化、それら全てがつながっていることから『丹南は一つ』との深い認識が根付いていました。

さらに、この地域は、1,500年にわたる和紙や打ち刃物、漆器、焼き物などの伝統の技、それに纏わる伝統文化や行事、食文化等、豊富な文化資源を継承しています。

現在、全国において、国が主導する地方創生、一億総活躍をはじめとする創造的な地域づくりが求められており、県内でも行政と住民が一体となったユニークな取り組みが進められています。

そこで、この丹南地域においても、歴史を踏まえ、文化、産業、自然を生かした観光や食文化など、他の地域にはない様々な資源を有効活用することが求められています。

それを活かす方策として、国道417号線や新幹線の南越駅(仮称)があります。まさに越前市や鯖江市がリーダーシップを図りながら、隣接町と共に、積極的に取り組みことが求められていると感じます。

人口減少が今後益々進み、地域の衰退化が叫ばれる中、この地域を母体とし、相互に力を合わせて活性化を図る『丹南は一つ』の取り組みが、まさに正念場を迎えています。

伊藤 康司

友好都市 高山市の観光行政から考える

越前市議会は、10月6日に友好都市である高山市を訪れ、越前・高山両市議会議員による観光行政に関する意見交換会を行いました。人口に関しては、越前市8万3千人に対し、高山市9万人と大きな差はないものの、観光入込客数では、越前市の約4倍の430万人で、特に外国人の36万4千人(H27)は、驚くべき数字であります。

高山市の外国人誘致対策を聞きますと、行政組織の中に、『ブランド・海外戦略部』が設置されており、海外にも職員を派遣し、積極的な展開を図っています。

特に、最近急増している外国人観光客に対して、インターネット接続環境の整備や、観光・緊急情報の積極的な情報発信をしており、安心して高山を訪れ滞在できると喜ばれているようです。

両市の大きな違いとして、高山市には、全国的に著名な高山祭(春秋に開催)や奥飛騨温泉郷をはじめ、数多くの温泉郷を有していることですが、越前市にとっては、今後開催される福井国体、北陸新幹線南越駅(仮称)の開業、中部循環自動車道の全線開通をチャンスととらえ、国内外の旅行者をいかに取り込んでいくかが問われていると同時に、この機会を活かす工夫が求められています。

会派「未来」

アンケート

性別	男性・女性	年齢	歳
----	-------	----	---

該当することに○を付けて下さい。

Q1 あなたは、市の方針である、本庁舎を現在地に建設する事やまちなかに人々を集める『中心市街地活性化』の取り組みに対して、どうお考えですか？

- とても良い
- 良い
- わからない
- 悪い
- とても悪い

Q2 現在考えられている、新幹線駅周辺整備や市東部のまちづくりは、どうお考えですか？

- とても良い
- 良い
- わからない
- 悪い
- とても悪い

Q3 議会や議員活動についてどうお考えですか？

- とても良い
- 良い
- わからない
- 悪い
- とても悪い

Q4 あなたは、下記の市事業のどれかに参加されましたか？

- 菊人形
- サマーフェスティバル(花火・踊り)
- 菊花マラソン
- 食の感謝祭

その他、市政や議会活動に関してのご意見をお願いします。

アンケートの取組をお願いします。

中西 眞三

幼稚園並びに小学校の 普通教室へのエアコン設置を求めて

越前市は、市長の政治決断にて各中学校へのエアコン設置を決め、設置が全て完了しましたが、今だに各幼稚園、小学校の普通教室は、エアコン未設置状況にあります。

「何故、中学校は設置され、幼稚園、小学校は未整備なのか？」との一般質問に対し、市は「厳しい財政状況と教育施設全体の視点から、小学校のエアコン設置への重要度や緊急度等を総合的に検討する。更には、教育委員会の検討課題として市長部局への意志決定を待っている状況」との旨の返答がなされました。しかし、教育委員会関係者からは、保護者や教職員関係者の声として、以前からエアコン設置については市長関係者に強く要望していると聞いています。しかし、市は教育委員会からエアコン設置への意思決定と要望の声などは聞いていないとの事であり、大きな矛盾がここにあります。

市長部局に、市教育総会議という機関があり、教育行政への関与と政策決定に、風通しの悪い現状が存在していると思われる、多くの幼稚園、小学校の関係者の強い要望が伝わっていないところに問題があると言えます。

エアコン設置に向けて、関係者に対し、現場の声を聞いて適切な判断をするように、私達は今後も強力に求め続けてまいります。

小形善信

発達障害の方への支援について

本年7月6日に「発達障害者支援法」が改正されました。

この法は「障害者支援」に関する法律では対象となっていなかった知的障害や身体障害のない「発達障害の人」を対象としたもので平成16年に制定されたものです。

この支援法は、発達障害の方の年齢や障害の特性に応じた支援を自治体や国民の責務であると定め、対象の方を社会で総合的に支援することを定めています。

幼少期や学童・学生時代の早期発見と継続的な支援についての制度は概ね確立されようとしていますが、義務教育後に発達障害の方が成人し、就労しても続かなかったり、周りの方の理解が得られなかったりなどの問題も多くあり、当人はもとより親族の方々はいろいろな悩みを抱えておられます。保護者の方々へ実施したアンケートによりますと、8割の保護者が、特にご自身が亡くなった後の子の収入に不安を抱えておられるようであります。いわゆる「親亡き後の子の行く末」を案じての心配であります。

自治体には生涯にわたっての総合的な支援を行っていく必要があることから、議会にて質問しましたが、「発達障害の方を抱えていらっしゃる親族の方は、収入や住まい、仕事など、生活への不安があると思われ、「親無き後」の支援体制も十分ではないことから、実態を把握し必要な支援が出来る体制を整えられるよう努める」との回答でした。

私は、市内の1割強の家庭で身体障害や発達障害の悩みを抱えておられることと想定しています。今後とも議会を通して「障害者差別解消法」と「発達障害者支援法」に基づいた適正な実施を進め、社会での弱者の方々が「生き生きと暮らせる社会づくり」の為に努力してまいりたいと思います。

佐々木哲夫

議会一般質問から 本庁舎と総合支所

本庁舎と総合支所は、基本設計が終わり、市では、実施設計に取り組み中です。

現段階における、本庁舎と総合支所の建設関連事業総額と財源内訳を、市に質問したところ、答弁として、本庁舎事業は、合計71億3千万円程で、総合支所事業は、11億7千万円。総合計83億円程度になるとの説明を受けました。

3年前の市長選挙時には、本庁舎と総合支所建設の概算予想は、約45億円。1年前の基本構想時、総額80億円。基本設計を終えた段階で83億円との予測。

今後、実施設計時には、予算の増加はないのでしょうか？
現在、本庁舎敷地面積が足りない為、東側用地の買収計画があり交渉中です。もちろん予算は増加されます。

また、7月に開催された『本庁舎と総合支所の基本設計建設市民説明会』で、出された市民の意見は、残念ながらほとんど反映されていない状況であります。

本庁舎や総合支所の市民利用機能について、利用者の意見を聞き、設計や管理運営に反映するように求め続けてきましたが、現在まで、十分になされたとは決して言えません。

さらに、9月議会の一般質問に対し、市長から、「利用者、関係団体の意見を聞くことは、一部の意見であり、片寄った意見でもある」との答弁があり、大変びっくりしました。

公共施設建設は、市民の為であり、それを利用する市民に喜ばれる施設を作ることが求められています。

会派「未来」主催

市民と語る会を実施しました！

報告

テーマ『新庁舎に期待する！』

120名あまりの参加者で会場は満員となり、大盛況！

第一部 郷土史家で市史編さん委員の真柄甚松氏を招き、国府や府中城など、越前市の歴史を紐解く中で、いかに、越前市が古代から栄えてきたのか？それをいかに掘り起こし、後世にしっかりと伝えていくことの重要性を力説されました。

第二部 会派の議員から、市が抱える課題について説明しました。

- 庁舎跡地の発掘調査と公用車駐車場建設について
- 中心市街地活性化基本計画策定の取り組みについて
- 新庁舎基本設計の取り組みについて
- 今立総合支所基本設計の取り組みについて
- 会派「未来」の「提言」について

その後、参加者との意見交換を実施しました。

日時：5月30日 19:30～ 会場：武生商工会議所

- ・庁舎跡地の発掘を今後どう活かすのか？
 - ・当初の計画であった東部に、なぜ庁舎を建てないのか？議会での議論はどうだったのか？
 - ・新庁舎が、中心市街地の活性化に本当につながるのか？
 - ・議会では、本当に真剣な議論が行われているのか？
 - ・会派「未来」の『市民と語る会』に参加したが、このような重要な議論は、もっと議会内で行われるべきではないのか？
- など、参加者からは、辛辣で厳しい意見が続出しました。会派の議員が、一つ一つ丁寧に答えましたが、参加者の皆さんの中には、現状の市政運営について十分に納得できない方も多くおられました。



様式第4号 (第5関係)

活動結果報告書

平成 28 年 6 月 1 日

越前市議会

議長 城戸茂夫 殿

議員氏名 小形 善信



下記のとおり報告します。

日 程 28年 5 月 20 日(月 曜日)～ 月 日 (曜日)
PM 7:30 ~ PM 9:00

活動先 武生商工会議所

活動目的 会新にて市民と語り合を開催し、市政の情報を提供し、市民の方々の意見聴取した。

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙を用いる。)

○ 郷土史家の真柄甚松氏によるミニ講演「越前市の特異性」とお聞きし、
国府発見への期待と、現在発掘されている越前市役所や庁舎跡地の歴史的遺物の
重要性を伺ったが、
公用車用駐車場を建設し埋設しようことへの無念を
痛切に感じたことである。

○ 庁舎移設所と新庁舎の建設に関する情報を市民の方に現状をお伝えした
和歌山県庁の資料が市庁用済みというが、我々も説明が難しかったのが現状で
ある。

然し、市民の方は市民の意見をもとに反映した庁舎建設への欲いとの要望が多くあり、

未来：市民と語る会

平成28年5月30日(月)午後7時30分～9時
商工会議所3階 会議室

会派未来は、5月30日に、『新庁舎に期待する！』と題して、市民と語る会を開催しました。参加者は、120名あまりで、会場は満員となり大盛況でした。

第一部は、郷土史家で市史編さん委員の真柄甚松氏を招き、国府や府中城など、越前市の歴史を紐解く中で、いかに、越前市が古代から栄えてきたのか？それをいかに掘り起こし、後世にしっかりと伝えていくことの重要性を力説された。

第二部では、会派の議員から、市が抱える課題について説明しました。

- 第3庁舎跡地の発掘調査と公用車駐車場建設について
- 第2期中心市街地活性化基本計画策定の取り組みについて
- 新庁舎基本設計の取り組みについて
- 今立総合支所基本設計の取り組みについて
- 会派「未来」の「提言」について

その後、参加者との意見交換を実施しました。

- ・第3庁舎の発掘を今後どう活かすのか？
- ・当初の計画であった東部になぜ建てないのか？議会での議論はどうだったのか？
- ・新庁舎が、中心市街地の活性化に本当につながるのか？
- ・議会では、どのような真剣な議論が行われているのか？
- ・未来の会派の市民と語る会に参加したが、このような重要な議論は、もっと議会内で行われるべきではないのか？ など、参加者からは、辛辣で厳しい意見が続出した。会派の議員が、一つ一つ丁寧に答えたが、参加者の皆さんは、十分理解できない方もおられてようであった。



4-2
4-3


様式第4号（第5関係）

活動結果報告書

29年2月14日

越前市議会

議長 城戸茂夫 殿

議員氏名 小杉善倉 

下記のとおり報告します。

日 程 29年2月12日（日曜日）～ 月 日（曜日）

活動先 チラシを、市内（市街地・今立地区）に新聞折り込み

活動目的 市民と語る会チラシを印刷・配布

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要（不足のときは、補助用紙を用いる。）

市民と語る会を告知するために、チラシを印刷し、市内（市街地と今立地区）に新聞折り込み。

A4判 10,000枚

印刷代

@70,200円/5=14,040円/人

新聞折り込み代

@37,245円/5=7,449円/人

越前市議会「会派：未来」主催

『市民と語る会』開催のご案内

昨年11月の未来会報で実施した「市政アンケート」による
市民の皆様からの貴重な声にこたえて開催します！！

越前市では、現在、半世紀に一度といわれるまちづくりが、進められています。

体育館建設、中央公園再整備、庁舎と総合支所建設、清掃センター改築、それに新幹線
駅周辺整備……

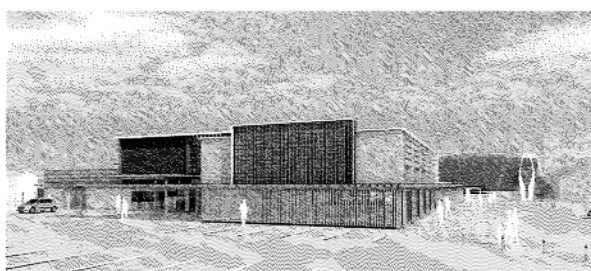
特に、本庁舎建設と総合支所建設を核とするまちづくりは、期待されています。

さらに、今後のまちづくりの方向を示す都市計画マスタープランをはじめ、多くの計
画が進められています。加えて、各地区の公民館をはじめとする公共施設の集約や複合
化などを含めた、市公共施設等総合管理計画にも取り掛かっています。

今回、私たち会派「未来」では、多くの市民の皆様方から頂いたアンケートにお答えす
ると共に、いまの市政や議会における現状をお伝えし、課題の認識や解決に向けて、市
民の皆さんと更なる話し合いを強く望み、「市民と語る会」を開催します。

☆市政アンケートに、願いを込めてお答え頂いた市民の皆さまに、感謝いたします。

総合支所が核となるまちづくり

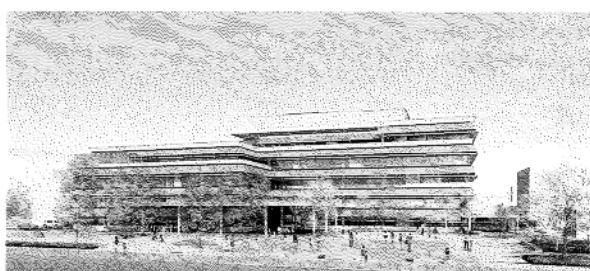


☆2月17日(金) 19:00

花筐公民館

- ・総合支所建設とまちの活性化
- ・継体大王を活かしたまちづくり

本庁舎建設が核となるまちづくり



☆2月18日(土) 19:00

東公民館 (東小学校北側)

- ・庁舎建設とまちの活性化
- ・商店街の振興と中心市街地の活性化


様式第4号（第5関係）

活動結果報告書

29年2月18日

越前市議会

議長 城戸茂夫 殿

議員氏名 小形善信 

下記のとおり報告します。

日 程 29年2月17日(金曜日)～ 月 日(曜日)

活動先 花籠公民館
活動目的 市民と語る会 (会派・未来主催)

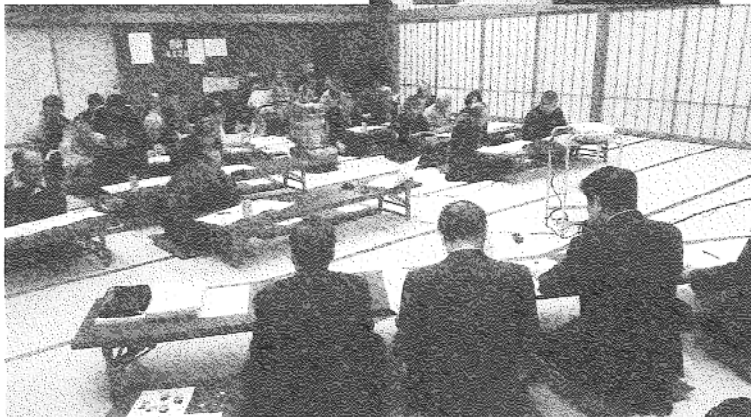
研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙を用いる。)

開催概要及び感想、は別紙の通り

- 会派「未来」にて「この先の55は元気にあるか」と題し市民の方58名の参加のもと意見交換を行った。
- 市民からは市に合併により今立地区が武生地域に吸収された方の不満意見が多くみられた。今後の今立地区の発展に期待したいとの要望が多く反響した。
 - 今立親睦所の改築に当てる要望も多かったが、この日の説明会には納得いかず市の意見聴取についての危惧を述べている声があった。又、委員は代弁者であるが、要望を聞いて欲しいとのことがあった。

会派:未来 市民と語る会結果報告

2月17日(金)花筐公民館



参加者 58名 花筐公民館2階和室

☆参加者には、資料とお茶を配布。

○会派議員5人が分担して、進行と説明を担当。プロジェクターを使って説明。

内容は、・市の現状と課題

- ・半世紀に一度のまちづくり、巨大プロジェクトの概要
- ・市議会の実情と課題

意見交換の内容

- ・総合支所のワークショップに参加したが、殆ど市民の意見が反映されない。
- ・設計図面を見せないで、意見を求められたが、正直、意見反映は困難である。
- ・設計は、数案提示され、市民や関係者の議論の中で決まったのではないのか？
- ・アンケートの年齢はどうか？できれば、市政に若い方の声を反映できる対策をしてほしい。
- ・市民が参加できるには、どうしたら良いのか？具体的な手立てはないのか？

様式第4号（第5関係）

活動結果報告書

29年2月18日

越前市議会

議長 城戸茂夫 殿

議員氏名 小杉善信 

下記のとおり報告します。

日 程 29年2月18日(土曜日)～ 月 日(曜日)

活動先 東公民館

活動目的 市民と語る会 (会派・未来主催)

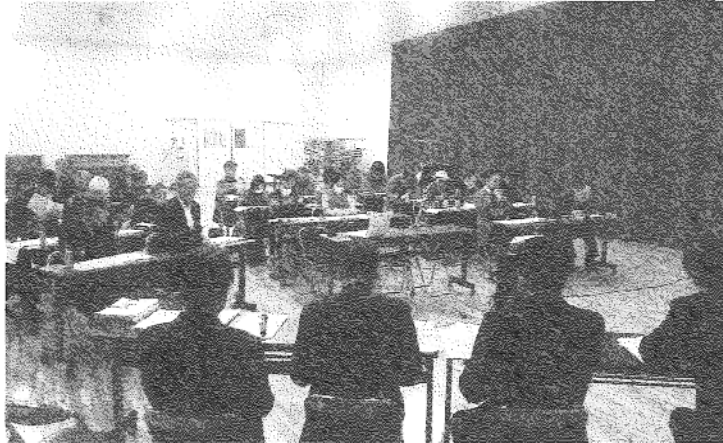
研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙を用いる。)

開催概要及び感想、は別紙の通り

「会派」未来は「こから、まは元気になるか」と題して市民の参加を促し意見交換を行った。
庁舎建設と市の活性化及び商店街の振興と中心市街地の活性化とX2に説明と
意見聴取を行ったが、新庁舎建設が中心市街地の活性化に結びつくと思えないとの意見や、
庁舎整備や公共施設等総合管理計画に多大な費用がかかるが、将来の負担を減らすための
危便の意見が寄せられた。
以上の件から、議員内での議論を踏まえて議案に向き合う覚悟との要望や、
今後も議会での多くの情報開示を望む旨の要望、議会の開催を多く行いたいとの
要望もあつた。

会派：未来 市民と語る会結果報告

2月18日(金)東公民館



参加者 41名 東公民館講堂

☆参加者には、資料とお茶を配布。

○会派議員5人が分担して、進行と説明を担当。プロジェクターを使って説明。

内容は、・市の現状と課題

・半世紀に一度のまちづくり、巨大プロジェクトの概要

・市議会の実情と課題

意見交換の内容

・人口減を考えた上での都市マス計画には、対策が明示されていない。示すべきである。

・半世紀に一度のまちづくりと称して、公共建築物ラッシュである。費用対効果を示すべきである。

・新幹線のアクセスは、何になるのか？結局バスか？

・公共施設等総合管理計画は必要だ。合併目的は、行革でなかったのか？職員減のみで対策はあるのか？

・他会派の語る会に出たが、今回はしっかり説明があり、良かったが、少し長い。参加者の意見を聞くべき。

・立地適正化計画を読んだが、よく理解できない。居住誘導区域設定は、非常に大きな問題である。

・そこにどう誘導するのかが、明示されていない。

・人口減少と税収減で、財源がないので、市民に我慢を求めるなら、早い段階で市民に分かりやすく説明する責任がある。

・議員は、市の追認では意味がない。このような重大な課題を、議員はしっかり議論してほしい。

・今回のような語る会は、今後何度かしてほしい。

・このように頑張っているのだが、5人以上の賛同者を集める努力をしてほしい。